

奨学金制度

立命館大学では、学生が安心して学生生活を送り、一人一人の学修・学生生活の目標にチャレンジできるよう、独自の奨学金システムを設けています。正課授業・課外自主活動を問わず、大学とキャンパス内外で行われる学生の多様な学びを学修と位置づけ、学生が主体的・能動的に学ぶことを支援します。

本学独自の奨学金は、経済的に困難な状況のなかでも学び成長したいと願う学生の学修・学生生活をサポートする「経済支援型奨学金」と、学修・留学・課外自主活動など学生が目標にチャレンジし、成長していくことをサポートする「成長支援型奨学金」があり、全国トップレベルの実績を持っています。

本学独自の奨学金のほか、日本学生支援機構、民間財団奨学金、地方公共団体奨学金など学外資金による奨学金も多数の学生が利用しています。

※各奨学金については、2025年度の奨学金制度となります。2026年度は内容が変更となる場合があります。

奨学金の種類	お問い合わせ先		WEBサイト
遠距離入学者支援 経済支援 (本学独自および国や外部機関) 正課外自主活動成長支援	学生オフィス (土・日曜・祝日を除く 9:30～11:30、12:30～17:00 火曜のみ12:30～17:00)	衣笠：075-465-8168	奨学金・助成金制度 https://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/
		OIC：072-665-2135	
		BKC：077-561-2854	
正課成長支援	各学部事務室	各種問い合わせ窓口 https://www.ritsumei.ac.jp/inquiry/	
海外留学支援	国際教育センター		
難関試験合格者支援	キャリアセンター (エクステンションセンター)		

※出願基準や出願時期・出願方法は奨学金ごとに異なります。詳細については、必ず募集要項を確認してください(上記本学奨学金WEBサイト参照)。

日本学生支援機構 給付奨学金 および 立命館大学学費減免

本奨学金制度は、2020年4月より開始された国の高等教育修学支援新制度に基づく支援であり、給付奨学金と入学金・授業料が減免になる制度です。

制度変更される場合がありますので、日本学生支援機構のWebサイトで最新の情報を確認してください。

※以下掲載内容は2025年2月時点の情報です。内容は変更になる場合があります。

日本学生支援機構 給付奨学金					給付型
給付額 (年額)	第Ⅰ区分：自宅外 約91万円・自宅 約46万円 第Ⅱ区分：自宅外 約61万円・自宅 約31万円 第Ⅲ区分：自宅外 約30万円・自宅 約15万円 第Ⅳ区分(多子世帯)：自宅外 約23万円・自宅 約11万円	採用数	家計・学力基準を満たす者は全員採用 (毎年度継続審査あり)	〈家計基準〉※ 非課税世帯を第Ⅰ区分、それに準ずる世帯を第Ⅱ～Ⅳ区分(第Ⅳ区分は多子世帯のみ)とし、日本学生支援機構が認定します。	

※家計基準による区分の認定については、日本学生支援機構WEBサイトを参照ください。※家計が急変した場合、給付奨学金(家計急変)として出願できる場合があります。

立命館大学学費減免(国の授業料等減免制度に本学の支援をあわせた制度)					給付型
給付額 (年額)	第Ⅰ区分・第Ⅰ区分(多子世帯)：70万円 または 授業料1/2の金額の大きい方を採用 第Ⅱ区分：約46万円 または 授業料1/4の金額の大きい方を採用 第Ⅲ区分：約23万円 または 授業料1/4の金額の大きい方を採用 第Ⅳ区分(理工農系)：約23万円(理工・生命科学・情報理工・映像学部のみ適用) 第Ⅱ～Ⅳ区分(多子世帯)・多子世帯：70万円 大学独自区分：授業料1/4の金額 ※入学金は、第Ⅰ区分・多子世帯20万円、第Ⅱ区分約14万円、第Ⅲ区分約7万円、第Ⅳ区分約5～7万円を減免	採用数	家計・学力基準を満たす者は全員採用 (毎年度継続審査あり)	〈家計基準〉 非課税世帯を第Ⅰ区分、それに準ずる世帯を第Ⅱ～Ⅳ区分(第Ⅳ区分は理工系学部と多子世帯のみ)、扶養する子どもが3人以上かつ大学等に通っている場合は多子世帯とし、日本学生支援機構が認定します。第Ⅰ～Ⅲ区分に該当せず、年間給与収入400万円以下の世帯を大学独自区分として認定します。	

立命館大学独自の奨学金制度

1 遠距離入学者支援	近畿圏外からの入学者を支援する奨学金 (2026年度入試受験生対象)一般選抜の受験前に出願し、採用の可否が決定				給付型
給付額	文系学部(映像学部除く)：年額30万円 理系学部・映像学部：年額50万円	採用数	400名程度	①近畿圏(京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県)外から本学へ進学を希望する者。 ②2026年度一般選抜を受験する者。 ※詳細は、2025年9月頃(予定)に立命館大学入試情報サイトの「学費・奨学金」ページでお知らせします。	

[文系学部] 法・産業社会・国際関係・文・経営・政策科学・総合心理・経済・スポーツ健康科学・食マネジメント [理系学部] 情報理工・理工・生命科学・薬

2 経済支援	立命館大学家計急変学費減免(入学予定者および学部在学生対象)				給付型
給付額	年間授業料の1/4	採用数	基準を満たす者は全員採用	生計維持者が死亡、重度後遺障害、自然災害による居住家屋の被災(半壊以上)および生計維持者の長期入院や加療のあった者。	
父母教育後援会家計急変奨学金					
給付額	授業料相当額を採用から修業年限まで	採用数	基準を満たす者は全員採用	入学後・在学中に学生の学費負担者(父母等)が、死亡、重度後遺障害により就労不能となった者。	
父母教育後援会災害支援奨学金					
給付額	2学期分授業料相当額	採用数	基準を満たす者は全員採用	入学後・在学中に学生の学費負担者(父母等)の居住する家屋が、自然災害により被害(半壊、床上浸水等)および長期加療を要する重症の人的傷害を受けた者。	

3

正課成長支援

西園寺記念奨学金(成績優秀者枠)					給付型
給付額	[文系(映像学部・グローバル教養学部を除く)学部] 1学期あたり15万円 [理系学部および映像学部・グローバル教養学部] 1学期あたり30万円	採用数	各学部の定員の2%以内	学部での学修を究め、成績優秀な者。	
+R学部奨学金					
給付額	次のいずれか 15万円、14万円、13万円、12万円、11万円、10万円、9万円、8万円、7万円、6万円、5万円、4万円、3万円、2万円、1万円	採用数	予算の範囲で学部長が定める	所属する学部の学修的取組において優れた成果を挙げた者。	
学びのコミュニティ学外活動奨励奨学金(正課授業)					
給付額	授業での調査、コンペティション参加などの学習活動に要する費用の一部相当額を奨学金として給付			授業(ゼミナールなど)を基盤とした国内外での調査活動や学会報告・国内外大学・諸機関との交流などの学習活動に積極的に取り組む者。	

4

海外留学支援

海外留学チャレンジ奨学金 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する制度						給付型
派遣期間が2カ月以下の海外留学プログラム ^{※1}	プログラム期間	2カ月以下	奨学金給付上限額	1万円～10万円	参加費の金額に応じて奨学金を支給(参加費5万円以上のプログラムが対象)。	
派遣期間が2カ月を超える、学籍上「留学」となる海外留学プログラム ^{※1・2}		半年間～1年間		20万円～60万円	日本学生支援機構(JASSO)が定める地域区分に準じる。	
交換留学、立命館アジア太平洋大学への国内交流派遣		半年間～2年間		15万円～60万円		
アメリカン大学・立命館大学ジョイント・ディグリー・プログラム(JDP) ^{※3}		2年間		200万円	受給条件等について、学部事務室にて確認してください。	
学部共同学位プログラム(DUDP) ^{※4}		2年間		240万円	－	

原則、本奨学金の支給対象プログラムの参加者全員が支給対象者となります。ただし、本奨学金の支給にあたっては、併給にかかる条件等がありますので、ご留意ください。

本奨学金の内容は2024年度時点の内容となりますので、今後変更される場合があります。必ず当該年度の募集要項で詳細を確認してください。

また、記載の内容は、現地への渡航を前提とした海外留学プログラムの場合となります。予定されていた海外留学プログラムが催行中止となった場合やプログラム内容が変更された場合は、支給の有無、支給金額等が変更となりますので、予めご了承ください。

※1 海外でのインターンシップを含みます。

※2 交換留学、立命館アジア太平洋大学への国内交流派遣、アメリカン大学・立命館大学ジョイント・ディグリー・プログラム、学部共同学位プログラムを除きます。

※3 JDP参加者への奨学金は、計4回に分けて支給します(給付上限額50万円/1回)。

※4 DUDP参加者への奨学金は、計3回に分けて支給します(給付上限額80万円/1回)。

海外留学サポート奨学金(予約採用型・家計急変型) 海外留学プログラムへの参加または参加継続が困難であることが見込まれる者を支援する制度						給付型
交換留学(DUDP含む)	プログラム期間	半年間～2年間	奨学金給付上限額	10万円～100万円	日本学生支援機構(JASSO)が定める地域区分に準じる。	
派遣期間が2カ月を超える、学籍上「留学」となる海外留学プログラム(上記以外)		半年間～1年間		20万円～40万円		

本奨学金の内容は2024年度時点の内容となりますので、今後変更される場合があります。必ず当該年度の募集要項で詳細を確認してください。

また、記載の内容は、現地への渡航を前提とした海外留学プログラムの場合となります。予定されていた海外留学プログラムが催行中止となった場合やプログラム内容が変更された場合は、支給の有無、支給金額等が変更となりますので、予めご了承ください。

5

難関試験合格支援

西園寺記念奨学金(難関試験合格者枠)					給付型
給付額	30万円	採用数	70名程度	公認会計士、国家公務員総合職など大学が指定する難関試験を目指し合格した者。	

出願多数の場合、選考があります。本奨学金の内容は2024年度時点の募集内容となりますので、今後変更される場合があります。出願資格等、必ず当該年度の募集要項で詳細を確認してください。

6

正課外自主活動成長支援

Challenge奨学金（個人）			給付型
給付額	①踏み出し支援 1人あたり年額5万円、10万円 ②高度化支援 1人あたり年額5万円、10万円、20万円、30万円	学生個人が正課や課外の通常の活動範囲を超えて抱いた問題意識に対して、その解決を目指し、自主的に取り組む者。	
校友会未来人材育成奨励金（団体支援）			給付型
給付額	①「新規出願」年間で15万円、30万円、50万円 ②「継続出願」年間で15万円	正課外活動において、社会問題の解決を目指す自主的な集団活動。	

クラブ・サークル活動の基盤を支えるために必要な経費や、合宿・遠征・交流企画をはじめ学外との交流などより高いレベルへ到達することを目的とした「正課外活動活性化・高度化助成金」制度もあります。

国や外部機関の奨学金

経済的理由により入学・修学が困難な学生を支援するため、大学独自の奨学金以外にも日本学生支援機構奨学金など、国や外部機関の奨学金の申し込みも受け付けています。

※以下掲載内容は2025年4月時点での情報です。内容は変更になる場合があります。

1 経済支援 (国)	日本学生支援機構貸与奨学金（第一種・無利子）※				貸与型
	貸与額 (月額)	自宅生： 2万円、3万円、4万円、5.4万円 自宅外生： 2万円、3万円、4万円、5万円、5.4万円、6.4万円 ※月額5.4万円、6.4万円は、別途家計基準を満たす必要あり。	貸与期間	原則として 修業年限の終期 ※毎年度継続審査有り	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」と「家計に関する基準」の両方を満たしている者。
日本学生支援機構貸与奨学金（第二種・有利子）※					貸与型
貸与額 (月額)	2万円～12万円（1万円単位）から選択。 薬学部のみ14万円も選択可。		貸与期間	原則として 修業年限の終期 ※毎年度継続審査有り	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」と「家計に関する基準」の両方を満たしている者。ただし、新入生の「奨学金（第二種）」の学力基準については、本学入学をもって基準を満たすものとする。

※1 現代社会専攻、メディア社会専攻、スポーツ社会専攻および人間福祉専攻
※2 アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は除く。
※3 文部省では、2回生進級時に専攻を選択します。
※4 人間研究学域哲学・倫理学専攻、日本文学研究学域、日本史研究学域日本史学専攻、東アジア研究学域、国際文化学域、国際コミュニケーション学域および言語コミュニケーション学域
※5 デュアル・ディグリープログラムの履修に關し、オーストラリア国立大学(以下、ANU)が実施する授業について、授業料の別徴収は行いません。ただし、日本およびオーストラリアでの受講に関わる渡航費・寮費・生活費等は別途必要になります。
※6 物理科学科、電気電子工学科、電子情報工学科、機械工学科、ロボティクス学科、環境都市工学科および建築都市デザイン学科

2 経済支援 (民間財団)	民間財団奨学金【学校推薦群】※		給付型、一部給付貸与併用型
給付額	財団により異なる。 (奨学金Webサイト参照)		立命館大学を代表する奨学生として相応しい(学業成績優秀、品行方正)者でありながら、経済的理由で修学が困難な者。奨学生に採用後、各財団が求める交流会、研修会に必ず参加できる者。家計基準・学業基準あり。学内での選考を経て、各財団に推薦。

※学校推薦群とは別に、民間財団奨学金【一般公募群】（給付型・貸与型）および地方公共団体（貸与型中心）の奨学金もあります。

保護者が学費などの支払いのために利用できる低金利の教育ローン

申込方法、支払い条件などは、それぞれの金融機関へ直接お問い合わせください。

<div>日本政策金融公庫 「国の教育ローン」</div> <div>政府系金融機関の 教育ローン</div> <div>入学する際には、まとまった資金が必要です。随時申し込み可能ですが、受験前から事前に申し込んでおき、合格と同時に融資を受け、入学手続きに必要な資金を借りることができる教育ローンです。</div> <div>融資利率:2.95% (2025年4月現在)</div> <div>教育ローン専用ダイヤル 0570-008656</div> <div>WEBサイト https://www.jfc.go.jp/</div> <div></div>	<div>三井住友カード 「C-Web学費ローン」</div> <div>低金利ローンで 学費納入をバックアップ</div> <div>立命館大学と三井住友カード株式会社(以下三井住友)との提携により、学費などの本学への納付金を三井住友が利用者に代わり本学へ立替払いし、利用者は三井住友へ分割で返済する制度を導入しています。</div> <div>分割手数料(実質年率):2.50% (2025年4月現在)</div> <div>カスタマーセンター 050-3827-0375</div> <div>WEBサイト https://www.cedyna.co.jp/loan/alliance/tuition/</div> <div></div>	<div>オリコ 「学費サポートプラン」</div> <div>低金利ローンで 学費納入をバックアップ</div> <div>立命館大学と株式会社オリエントコーポレーション(以下オリコ)との提携により、学費などの本学への納付金をオリコが利用者に代わり本学へ立替払いし、利用者はオリコへ分割で返済する制度を導入しています。</div> <div>分割手数料(実質年率):3.00% (2025年4月現在)</div> <div>オリコ学費サポートデスク 0120-517-325</div> <div>WEBサイト https://www.orico.tv/gakuhi/</div> <div></div>	<div>滋賀銀行 「スピードローン ジャストサポート」 (提携型)</div> <div>低金利の 銀行教育ローン</div> <div>立命館大学と株式会社滋賀銀行との提携により、本学への納付金やその他にかかる費用(仕送り資金、住居費用、留学費用など)についても幅広く対応しています。</div> <div>年利(変動金利):2.50%または3.30% (2025年4月現在)</div> <div>滋賀銀行クレジットセンター 0120-889-201</div> <div>WEBサイト https://mcl.sbk.jp/lp/teikei/pc/</div> <div></div>
--	---	--	--

学費・諸会費について……2026年度入学者に適用する学費および諸会費は2025年6月下旬頃に決定する予定です。以下は2025年度の入学者に適用する学費および諸会費を掲載します。

〈参考〉2025年度入学者 学費

入学年度を基準とした、在学期間学費明示方式(入学時点で在学期間の学費を明示)および一定方式(入学から卒業までの各回生の学費は、一部を除き同額)を基本とします。本学の学費は入学金と授業料で構成されています。

学 部	学科等	1 回生				2 回生以降		
		入学金	春学期授業料	秋学期授業料	年間計	春学期授業料	秋学期授業料	年間計
法学部		200,000	543,500	543,500	1,287,000	543,500	543,500	1,087,000
産業社会学部	子ども社会専攻	200,000	673,500	673,500	1,547,000	673,500	673,500	1,347,000
	上記専攻以外※1	200,000	637,100	637,100	1,474,200	637,100	637,100	1,274,200
国際関係学部※2	国際関係学科	200,000	699,400	699,400	1,598,800	699,400	699,400	1,398,800
文学部※3	地域研究学域	200,000	633,300	633,300	1,466,600	633,300	633,300	1,266,600
	人間研究学域教育人間学専攻	200,000	621,800	621,800	1,443,600	633,300	633,300	1,266,600
	日本史研究学域考古学・文化遺産専攻	200,000	621,800	621,800	1,443,600	621,800	621,800	1,243,600
	上記学域・専攻以外※4	200,000	610,700	610,700	1,421,400	610,700	610,700	1,221,400
経営学部	国際経営学科	200,000	610,700	610,700	1,421,400	610,700	610,700	1,221,400
政策科学部	経営学科	200,000	543,500	543,500	1,287,000	543,500	543,500	1,087,000
		200,000	647,100	647,100	1,494,200	647,100	647,100	1,294,200
総合心理学部		200,000	666,900	666,900	1,533,800	666,900	666,900	1,333,800
グローバル教養学部※5		200,000	1,150,000	1,150,000	2,500,000	1,150,000	1,150,000	2,300,000
映像学部		200,000	1,015,400	1,015,400	2,230,800	1,015,400	1,015,400	2,030,800
経済学部		200,000	561,800	561,800	1,323,600	561,800	561,800	1,123,600
スポーツ健康科学部		200,000	688,500	688,500	1,577,000	688,500	688,500	1,377,000
食マネジメント学部		200,000	672,100	672,100	1,544,200	672,100	672,100	1,344,200
情報理工学部		200,000	860,700	860,700	1,921,400	860,700	860,700	1,721,400
理工学部	数理科学科	200,000	830,400	830,400	1,860,800	830,400	830,400	1,660,800
	上記学科以外※6	200,000	860,700	860,700	1,921,400	860,700	860,700	1,721,400
生命科学部		200,000	877,200	877,200	1,954,400	877,200	877,200	1,754,400
薬学部	薬学科（6年制）	200,000	998,400	1,198,400	2,396,800	1,198,400	1,198,400	2,396,800
	創薬科学科（4年制）	200,000	988,300	988,300	2,176,600	988,300	988,300	1,976,600

※1 現代社会専攻、メディア社会専攻、スポーツ社会専攻および人間福祉専攻
※2 アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は除く。
※3 文部省では、2回生進級時に専攻を選択します。
※4 人間研究学域哲学・倫理学専攻、日本文学研究学域、日本史研究学域日本史学専攻、東アジア研究学域、国際文化学域、国際コミュニケーション学域および言語コミュニケーション学域
※5 デュアル・ディグリープログラムの履修に關し、オーストラリア国立大学(以下、ANU)が実施する授業について、授業料の別徴収は行いません。ただし、日本およびオーストラリアでの受講に関わる渡航費・寮費・生活費等は別途必要になります。
※6 物理科学科、電気電子工学科、電子情報工学科、機械工学科、ロボティクス学科、環境都市工学科および建築都市デザイン学科
(注) ① 入学金は入学年度のみ納入してください。
② 薬学部薬学科は、初年度の負担をできるだけ低く抑えるため、1回生春学期授業料において新入生特別減免を行っています(上表の1回生春学期授業料は、減免後の金額を記載しています)。
③ 特定科目(教育実習等)の履修に際して、別途費用を徴収することがあります。
④ 社会的な要因により物価等が急騰し、その影響への対処として在学生を含めて学費改定を余儀なくされた場合には、緊急的な措置として学費改定を行うことがあります。
⑤ 学費の納入にあわせ、下記の諸会費も納入してください。

〈参考〉2025年度入学者 諸会費

学 部	学友会		学会費	父母教育後援会		計
	入会金	年会費		入会金	年会費	
法学部	3,000	5,000	半年会費 3,500 (年額 7,000)	5,000	10,000	30,000
産業社会学部	3,000	5,000	半年会費 3,000 (年額 6,000)	5,000	10,000	29,000
国際関係学部	3,000	5,000	半年会費 4,000 (年額 8,000)	5,000	10,000	31,000
文学部	3,000	5,000	半年会費 3,000 (年額 6,000)	5,000	10,000	29,000
映像学部	3,000	5,000	半年会費 4,000 (年額 8,000)	5,000	10,000	31,000
経営学部	3,000	5,000	半年会費 3,500 (年額 7,000)	5,000	10,000	30,000
政策科学部	3,000	5,000	半年会費 4,000 (年額 8,000)	5,000	10,000	31,000
総合心理学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000
グローバル教養学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000
経済学部	3,000	5,000	半年会費 2,500 (年額 5,000)	5,000	10,000	28,000
スポーツ健康科学部	3,000	5,000	半年会費 4,000 (年額 8,000)	5,000	10,000	31,000
食マネジメント学部	3,000	5,000	半年会費 3,000 (年額 6,000)	5,000	10,000	29,000
理工学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000
情報理工学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000
生命科学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000
薬学部	3,000	5,000	—	5,000	10,000	23,000

(注) ① 学友会入会金、父母教育後援会入会金は、入学年度のみ納入してください。
② 学友会、父母教育後援会は一括納入のみとなります。
③ 学会費は学期ごとに納入してください。ただし、前期・後期の授業料を一括して納入する場合は、年会費を一括納入することになります。
④ 校友会費、学部校友会費は4回生(薬学部は6回生)時のみ納入してください。納入は一括納入のみとなります。

生活費(1か月の収入と支出の例)

立命館生活協同組合「2024年度学生生活実態調査」より

自宅生

衣笠キャンパス

(単位/円)

収入		支出	
小遣いなど	6,270	食費	14,460
奨学金	11,130	住居費	290
アルバイト・その他	54,330	交通費	10,360
収入合計	71,730	教養娯楽費	15,070
		支出合計	70,550

大阪いばらきキャンパス (OIC)

(単位/円)

収入		支出	
小遣いなど	6,020	食費	14,600
奨学金	10,910	住居費	80
アルバイト・その他	55,450	交通費	9,800
収入合計	72,380	教養娯楽費	16,830
		支出合計	74,940

びわこ・くさつキャンパス (BKC)

(単位/円)

収入		支出	
小遣いなど	11,100	食費	14,720
奨学金	13,600	住居費	160
アルバイト・その他	48,810	交通費	12,470
収入合計	73,510	教養娯楽費	15,190
		支出合計	72,880

※合計値は、支出(収入)総額の平均値です。
※立命館大学周辺の物件は、立命館生活協同組合のホームページ (<https://www.ritsco-op.jp/index.html>) や (株)クレオテック、または大学周辺の取扱店のホームページ等をご確認ください。

下宿生

衣笠キャンパス

(単位/円)

収入		支出	
仕送りなど	67,150	食費	26,020
奨学金	20,230	住居費	56,500
アルバイト・その他	39,910	交通費	5,190
収入合計	127,290	教養娯楽費	13,760
		支出合計	128,100

大阪いばらきキャンパス (OIC)

(単位/円)

収入		支出	
仕送りなど	72,790	食費	28,340
奨学金	10,400	住居費	60,490
アルバイト・その他	48,110	交通費	6,260
収入合計	131,300	教養娯楽費	14,010
		支出合計	130,240

びわこ・くさつキャンパス (BKC)

(単位/円)

収入		支出	
仕送りなど	71,600	食費	26,580
奨学金	18,100	住居費	55,680
アルバイト・その他	40,840	交通費	6,280
収入合計	130,540	教養娯楽費	14,160
		支出合計	132,330

立命館大学の情報環境について

立命館大学では、eラーニングや情報教室の整備など、ITによる教育の高度化に取り組んでいます。大学生の学びには、受講科目の登録、課題の作成や提出、情報検索など、パソコンが欠かせません。学内には、学生が自由に利用できるパソコン環境を各キャンパスに整備しています。また、Wi-Fi環境を増強し、学修に必要なソフトウェアを自身のパソコンで使えるようにするなど、オンラインの受講環境も整えています。

- 情報環境の一例
- 授業や研究に必要なOfficeなどのソフトウェアを提供
 - キャンパスの建物内では、Wi-Fiに接続可能
 - キャンパス内で自身のパソコンやスマートフォンから印刷が可能
 - 学内のITサービスに関するサポート窓口を設置



ICT-Lab. (OIC)

学生生活における困りごとの相談窓口

学生部には、学生生活の困りごとや課題などを相談できる4つの窓口（①学生サポートルーム ②障害学生支援室 ③SSP ④保健センター）があります。何を相談すればよいかわからない、どこで相談すればよいかわからない、相談をしてよいかわからない場合は、学生オフィスの支援コーディネーターが、事情をお伺いのうえ、各種窓口の利用方法や相談の進め方をアドバイスすることができる「学生相談の総合案内」を設けています。また、学生部は、ダイバーシティ&インクルージョンの方針に基づいた運用を行っています。詳しくは、「学校法人立命館ダイバーシティ&インクルージョン」HPを確認してください。

学生オフィス
支援コーディネーター

大学生活、人間関係、将来の不安などを相談したい

学生サポートルーム

身体・発達・精神などの障害がある学生への就学上の支援

障害学生支援室

正課授業と課外活動を通じた自立と成長をサポート

SSP
(Student Success Program)

ケガ・体調不良、心身の健康について相談したい

保健センター

SSP (Student Success Program) について

SSPは学生の皆さんが自立した学び手として成長することを目標とし、学生一人一人のニーズや目的に合わせて支援を選択することができるよう、多様な学習支援を展開しています。具体的には、①ホームページや窓口、Campus Diary 等での支援ツールの配布、②対面やオンライン形式のセミナーによる集団支援、③先輩・仲間 (SSP ピア・サポーター) による小集団支援、④SSPコーディネーターによるアセスメントや個別相談を行う個別支援で構成されています。

「学生教育研究災害障害保険」

正課授業中や課外自主活動中の事故などにより、万一ケガ等を負った場合に備えて、本学では学生全員を対象とした「学生教育研究災害障害保険」に加入しています（掛け金は大学が負担しています）。

■ 保険金の対象となるもの

正課授業・大学行事中	実治療日数1日以上
キャンパス内でのケガ	実治療日数4日以上
課外活動中 (学友会登録団体等) のケガ	実治療日数14日以上

体調が悪くても安心 併設診療所で保険診療も受けられます

学内で、ケガをした、気分が悪くなったなどの場合に、診療や応急処置を行う「保健センター」を衣笠・OIC・BKCに設置しています。医師や看護師が学生の皆さんの健康管理・サポートにあたり、内科・精神科の診療を行っています。定期健康診断をはじめとした健康管理や実習支援、留学支援としてトラベルクリニックの対応なども行っています。



学部生を対象に、保険医療費の自己負担額を父母教育後援会が補助しています（要申請）。学生たちは安心して受診することができます。

学校法人立命館ダイバーシティ&インクルージョン
<https://www.ritsumeikan-trust.jp/diversity/>



学生相談の総合案内
<https://www.ritsumei.ac.jp/drc/sougou/>



父母教育後援会

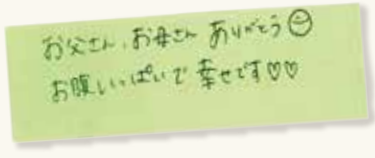
父母教育後援会とは、在学生の保護者の皆さまと共に学生生活を支え、大学と保護者の皆さまをつなぐ組織です。全国各地から学生が集まる立命館大学では、親元を離れひとり暮らしをしている学生も多く、学業だけでなく生活面でもサポートしています。ここでは、活動の一部をご紹介します。

健康な学生生活は朝食から
～100円朝食の提供～

立命館大学では、各キャンパスに食堂があり、開講期間中、学生を対象として100円で朝食を提供しています。これは、朝食を食べることで生活リズムを整えてほしいという思いから、父母教育後援会の支援で始めました。年間のべ約12万名の学生が利用しており、結果として図書館の早朝利用者がのべ約3万名増えるなど教育面でも効果を上げています。



早起きして朝食を食べる習慣づけに役立っています。



キャンパスへのご招待

キャンパスで留学や就職などのテーマ別説明会、学部別の懇談会を実施（春のオープンカレッジ、6月）。秋の学園祭にもご招待します。



教職員が皆さまのもとへ

全国各地で父母交流会を開催。在校生や卒業生による貴重な体験談が聞け、大学の教職員に直接質問や相談ができる有意義な機会となっています。



京都などの歴史や文化を堪能

京都などにまつわるテーマごとにコースを設け、大学の教員の講座を受けた後、教員と共に名所・旧跡を巡ります。毎年、遠方から多数のご参加があります。



広がる立命館の輪「卒業生父母の会」

学生たちは大学を卒業すると約41万名の校友の一員となりますが、保護者の方々はご子女の卒業と同時に立命館大学とのつながりを持ちにくくなってしまいます。そのような中、多くの方から「子どもの卒業後も立命館大学の学生を応援したい」とのお声が寄せられ、卒業生父母の会を設立しました。卒業生父母の会に加入することで、保護者の皆さまも立命館ファミリーの一員としてつながり続けることができます。

父母教育後援会
<https://www.ritsumei-fubo.com/>

